

<p><b>政治・経済 (Politics and Economics)</b></p>	<p><b>3年・通年・2単位・必修</b> <b>5学科共通 担当 竹原 信也</b></p>	
<p>[準学士課程 (本科 1-5 年) 学習教育 目標] (1)</p>		
<p>[講義の目的] 私たちが現在生活している社会について、その仕組み、ルールを学ぶ。単なる暗記科目としてではなく、「生きた」学問として政治・経済を捉える。</p>		
<p>[講義の概要] 前半は主として政治について、後半は、経済と国際社会について学ぶ。</p>		
<p>[履修上の留意点] 教科書・ノートを用いてすすめる。授業の前後に教科書を一読しておくことを奨励する。授業をよく聞き、授業の内容に関連するトピックについて各自色々と考えてみてほしい (授業中の積極的な発言も歓迎)。視聴覚教材の利用やグループ活動も適宜行う予定である。政治・経済の面白さを実感するためには、日頃から新聞やニュースなどに触れ、政治・経済について関心を寄せることも有用である。</p>		
<p>[到達目標]        〈前期中間試験〉            「民主政治」の基礎的理解            「日本国憲法の成立過程」、「平和主義」の理解        〈前期末試験〉            「基本的人権」の理解            「三権分立」、「立法権」、「行政権」「司法権」の理解        〈後期中間試験〉            「資本主義経済」の理解            「国民所得と経済成長」「金融・財政」の理解        〈学年末試験〉            「国際社会」の理解</p>		
<p>[評価方法] 定期試験 (70%)、小テスト (10%)、レポート課題・ノート提出・発表・グループワークでの取り組みを総合的に評価 (20%)</p>		
<p>[教科書] 『高等学校 政治・経済』改訂版、第一学習社</p> <p>[補助教材・参考書]</p>		
<p>[関連科目] 社会科科目全般に関連する。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス 民主政治の基本原理①	授業の目的・概要・評価方法を説明する 政治と法の機能について学ぶ	
第2週	民主政治の基本原理②	民主政治の原理と発展について学ぶ	
第3週	民主政治の基本原理③	人権保障と法の支配について学ぶ	
第4週	民主政治の基本原理④	議会制民主主義と政治の特質について学ぶ	
第5週	日本国憲法①	大日本帝国憲法の成立と概要について学ぶ	
第6週	日本国憲法②	日本国憲法の成立とその概要について学ぶ	
第7週	日本国憲法③	平和主義について学ぶ	
第8週	前期中間試験解説		
第9週	インスタントディベート	政治的なトピックについてインスタントディベートを行う。	
第10週	基本的人権①	自由権について学ぶ。	
第11週	基本的人権②	法の下での平等・社会権について学ぶ。	
第12週	基本的人権③	新しい人権について学ぶ。	
第13週	日本の政治機構①	国会について学ぶ。	
第14週	日本の政治機構②	内閣について学ぶ。	
第15週	日本の政治機構③	裁判所について学ぶ。	
前期期末試験			
第16週	経済社会の変容①	経済と資本主義経済の発達について学ぶ。	
第17週	経済社会の変容②	資本主義経済の変容と社会主義経済の考え方について学ぶ。	
第18週	現代経済のしくみ①	経済主体と経済活動について学ぶ。	
第19週	現代経済のしくみ②	市場経済の機能について学ぶ。	
第20週	現代経済のしくみ③	市場経済の限界について学ぶ。	
第21週	現代経済のしくみ④	経済成長と景気変動について学ぶ。	
第22週	現代経済のしくみ⑤	財政の仕組みについて学ぶ。	
第23週	後期中間試験		
第24週	貿易ゲーム	経済活動を疑似体験する。	
第25週	現代経済のしくみ⑥	金融と物価の仕組みについて学ぶ	
第26週	現代経済のしくみ⑦	国際経済の基礎知識を学ぶ。	
第27週	国際社会のしくみ①	国際政治の概要について学ぶ	
第28週	国際社会のしくみ②	第一次世界大戦と国際連盟について学ぶ。	
第29週	国際社会のしくみ③	第二次世界大戦と大戦後の国際社会について学ぶ。	
第30週	国際社会のしくみ④	東西冷戦と現代の国際紛争について学ぶ	
学年末試験			

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった。  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)